

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

平成自由クラブ

令和最初の十二月議会が終わりました。昨年は関東地方が台風等の自然災害に見舞われ、改めて安心・安全の大切さ、普段からの防災対策の重要性を痛感いたしました。私たちは、「誰もが安心・安全に暮らせる長岡京」に向けて取り組んでまいります。

十二月議会では、令和元年度一般会計補正予算・長岡京市立神足ふれあい町家の指定管理者の指定について・令和元年度長岡京市公共下水道

事業会計補正予算など二十六議案を慎重審議し可決いたしました。

一般質問では、高齢化の加速や担い手不足などの問題が山積する農業で、解決策となる農業振興や、緑地保全や防災面からも重要な農地保全について、乙訓農作業受委託組合の重要性を質しました。道の駅的施設については、サウンディング型市場調査の進捗状況を確認いたしました。今後も都市と田園が調和した魅力ある長岡京市を守り、市民の豊かな暮らしと賑わいのあるまちづくりを進めます。

八木浩・富岡浩史・小野洋史

日本共産党

新庁舎 100億円超えて大丈夫？

現庁舎の正面に工事の囲いが立ち、工事前の埋蔵文化財調査や新庁舎の実施設計が進められています。

1期庁舎は5階建て、2期庁舎は8階建てで、その中に産業文化会館と保健センターも入ります。面積は、庁舎部分だけで現在の1.5倍です。今議会で、これまで90・7億円だった建設費が、5億円以上増え96億円になると報告されました。設計費や備品等を合わせ100億円を超え

ることが確実な状況です。

日本共産党議員団は、「必要最小限の使いやすい庁舎」「市民に判断の機会を」とくり返し求めてきました。

今回は「実施設計の案と財政計画を示して市民の意見募集を」と求めましたが、市は「これまでも聞いてきた」と否定しました。しかし広報に、「面積1.5倍」「費用100億円」は掲載されたことがありません。市長は2期目になり、公共施設使用料10%値上げ（消費税課税）を行い、下水道使用料22%値上げも打ち出しています。税の使い方について、もっと市民と対話すべきです。

輝（かがやき）

令和元年十二月定例会では、約七

億円を追加し、歳入歳出それぞれ約二百九十億円とする一般会計補正予算が可決されました。そして、一般質問では、宮小路議員から「経済的理由による教育格差」「不登校児童の教育支援」「公共施設再編整備構想における学校施設」の三項目、進藤議員から「事業コスト削減」の一

項目、富田議員からは「エビデンスに基づく政策立案」「放置自転車を防ぐ為の駐輪場整備」の二項目につ

いて、休会中の調査・研究の結果を踏まえて、進捗状況の確認や問題点の改善について、それぞれの視点から質問しました。

会派「輝」は、次の世代へとつなぐ持続可能な新しいまちづくりのために、本市の老朽化した公共施設の複合化・維持・管理や阪急長岡天神駅周辺事業など山積する課題に対して、皆さまから頂いたご意見を反映しながら、これからもしっかりと議員活動に取り組んで参ります。

進藤裕之・大伴雅章・綿谷正己・富田達也・宮小路康文

平成市民クラブ

3月12日、東京2020オリンピック聖火がギリシャ採火式から福島県へとリレーされ、全国を回ります。京都府での実施日やルート選定、特に本市の状況について質しました。市長からは、日本での開催を子ども達に体験して欲しいとの想いを聞かせていただきました。本市ルートを安全に「希望の道」として繋いで行けるよう期待しています。

近年の豪雨等に対応した農業用ため池の管理について、大雨時の洪水調節機能や土砂流出防止の防災減災機能を確認し、農業用水維持管理に努めるとの答弁を得ました。男女共同参画については、児童虐待・女性活躍・男性支援など多角的な事業展開の説明を受けました。上下水道事業に関しては、経営や料金改定について、市民に対して十分な説明と理解を得られるよう要望しました。一方、私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願に対しては、本市子育て環境充実の観点から賛成しました。

今後市民の豊かな暮らしのため、未来に向けたまちづくりを進めます。三木常照・中小路貴司・寺嶋智美

平成西山クラブ

本市の保育を取り巻く状況は、就学前児童数が4400人弱と概ね横ばい状態で推移している中で、保育所の入所希望は年々増加しています。平成30年度及び31年度当初の国基準待機児童については、0人であるものの、潜在的ニーズを含んだ年度当初の市基準の待機児童は30年度が72人、31年度が69人と、一定数おられる状況です。令和2年度からの「第2期子ども・子育て支援事業計画」については、女性の就業率の上昇や、

昨年10月から実施されている「幼児教育・保育の無償化」による保育ニーズの増加、子育て世代の多様なニーズについて分析をして、各事業の適切な見込み量を設定することを要望しました。市長は、待機児童ゼロ実現に向けて、来年度から民間園1園と小規模保育園2園が開園予定であることを示しました。さらに、待機児童の動向をみて、小規模保育園があと1園必要ではないかとの見解に加え、今後はハード面だけでなく、保育内容の一層の充実をはかることを示しました。

上村真造 白石多津子 田村直義

公明党

防災・減災対策の強化と希望と

活力に満ちた長岡京市の構築

公明党は、令和元年十二月議会定例会に提出された様々な議案について、会派として慎重に議論を重ねた上で全ての議案に賛成致しました。

社会情勢を踏まえ、国や地方で議論され国民生活や関係者などに大きく影響を与えるであろう課題についても勉強会を事前に行い、意見書という形で議会に提出させて頂く事を心がけ、今回は「令和元年台風19号

等からの復旧・復興に向けた対策を求める」意見書一件を提案させて頂き、全会一致で可決されました。

公明党は、これまでに培ってきたネットワークにより、十二月には、幼児教育・保育無償化に関する実態調査アンケートを事業者と利用者対象に行い、国民にとってさらに良い政策にする為に努力しております。

今後、本市も少子高齢化社会に直面し、社会保障費増加は免れず厳しい財政運営が予測されます。

公明党は、市民の声に耳を傾け、希望と活力に満ちた豊かさが実感できる長岡京市を目指して参ります。

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員

が集まってつくるグループのことです。

ここでは12月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

